



シャーロット・ドイルの告白

アヴィ作 茅野美ど里訳 あすなる書房

一三歳のわたしは、父の会社が所有する船に乗り、イギリスからアメリカへと帰国するはずだった。ところが、同行する予定だった両親の知り合いの家族が姿を見せず、たった一人でシーホーク号に乗り込むことになる。薄汚い船室、ぼろぼろの服をまとった乗組員たち。レディとして育ったわたしは、上流の紳士であるジャガリー船長だけを頼りに日々を過ごしていた。だが、船の秘密が明らかになると…。一九九九年の偕成社版が、新しい訳と絵で再刊されました。

